

来週の『売り物』記事はこれ



2015年11月6日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

パキスタン 無人機攻撃の恐怖 もう一人のマララ

8日(日)



「テロとの戦い」の最前線で誤爆におびえ、学ぶ機会を奪われた罪のない子供たち。パキスタン北部で生まれ育ったナビラ・レフマンさん(13)は3年前、自宅前にいて突然、米国の無人偵察機にミサイルを発射



されました。菜園でオクラを摘んでいた祖母は即死し、自身も負傷しました。支援団体の呼びかけにより13年10月、ナビラさんら家族は米議会で無人機の使用停止を訴えました。しかし、公聴会に出席した議員はわずか5人。その2週間前、オバマ大統領と面会したパキスタンの少女、マララ・ユスザイフさんとは当局の扱いに天地ほどの差がありました。米国の無人機に攻撃されたナビラさんと、その米国を敵視するタリバン運動に銃撃されたマララさん。ナビラさんの父は言います。「マララもナビラも同じテロの犠牲者。違うのは誰が攻撃したかだけだ」。無人機の恐怖がいかに子供たちの未来を奪っているかを伝えるため、15日に来日予定のナビラさんと家族の姿を追いました。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

女の恋は「上書き保存」で男の恋は「名前を付けて保存」？

恋愛を巡る俗説の真偽を追う

夕刊2面特集ワイド 10日(火)



「女の恋は上書き保存」で「男の恋は名前を付けて保存」という言い回しがあることをご存知でしょうか。「上書き」「名前を付けて保存」ともパソコンで作成した文書などを保存する際のやり方ですが、新しい恋をした女性は前の相手をきれいさっぱり忘れてしまう一方、男性は前の相手をジクジク覚えている——との意味だそうです。本当にそうなのでしょうか。性別による記憶メカニズムの違いなど科学的な理由はあるのでしょうか。恋を巡る俗説の真相を追いました。


社会人野球日本選手権大会大詰め

準決勝：8日(日)午後0時半・4時

決勝：9日(月)午後6時

京セラドーム大阪(大阪市西区)で開かれている「第41回社会人野球日本選手権大会」(毎日新聞社、日本野球連盟主催)が大詰めを迎えます。昨年優勝のトヨタ自動車、準優勝のセガサミー、一昨年の覇者・新日鉄住金かずさマジックなど強豪チームが早々と姿を消し混戦模様。強豪・西濃運輸を破ったホンダ、セガサミーとの接戦を制した日立製作所、日本通運との関東対決に勝利したNTT東日本などがベスト8にコマを進めています。準々決勝は7日、準決勝は8日、決勝は9日に行われます。ダイヤモンド旗を手にするのはどのチームか? 「社会人野球日本一」を決める秋の球宴も毎日新聞でお楽しみください。



「西原理恵子のおかん飯 with 枝元なほみ」 おんなのしんぶん  8日(日)



個性的なレシピはもちろん、漫才のような二人のやり取りが楽しい「おかん飯」。今回の料理は「豚のみそ漬け焼」です。味と同じぐらい肉への火の通り具合が大切なこの料理。紙面では枝元さんがその極意を披露しています。いつもの通り、ニュースサイトには動画と写真特集もアップされます。そちらもお楽しみに!

居住中のマンション、どうチェックする？

くらしナビ面 10日(火)

旭化成建材による建物のくい打ち工事施工データ改ざん問題を受け、「自分が住んでいるマンションは大丈夫か」という不安が広がっています。施工データの改ざんを見抜くのはほぼ不可能ですが、構造部分の欠陥による建物の不具合などは、外壁などのチェックで気付くチャンスはあるそうです。注意点や住民同士の対応、専門家による調査について紹介します。



高齢者の運転注意

くらしナビ面 11日(水)



高齢者ドライバーによる交通事故は、長年の経験による慣れや身体能力の衰えが影響していることが多いそうです。加齢による衰えは本人が自覚しにくい傾向にあります。損害保険最大手の損保ジャパン日本興亜は、蓄積した事故データ分析から高齢者が起こしやすい事故のタイプを示し、注意を呼びかけています。事故を避けるためのポイントを取り上げます。

企画「学びを支える」

くらしナビ面 12日(木) から計3回

障害や困難を抱える子どもの学習を手助けする機器としてタブレット端末が注目されています。「iPad (アイパッド)」などの端末で、表示された文字の大きさや色を変えたり、映像や音声を簡単に記録したりと、さまざまな機能がハンディを軽減してくれると期待されているからです。タブレットを使った学びの場での新たな取り組みを取材しました。

